

エレクトロニクスで病魔に挑戦する日本光電 — 事業概要と中期経営計画 —

日本光電工業株式会社
(証券コード:6849)

2023年3月17日
執行役員 経営戦略統括部長
泉田 文男



本日の内容

1 会社概要・日本光電の歩み

2 日本光電の成長戦略

3 株主様への還元について

4 質疑応答

1

会社概要・日本光電の歩み

日本光電ってどんな会社？

日本光電は医療機器メーカーです

集中治療室 病棟



生体情報モニタ

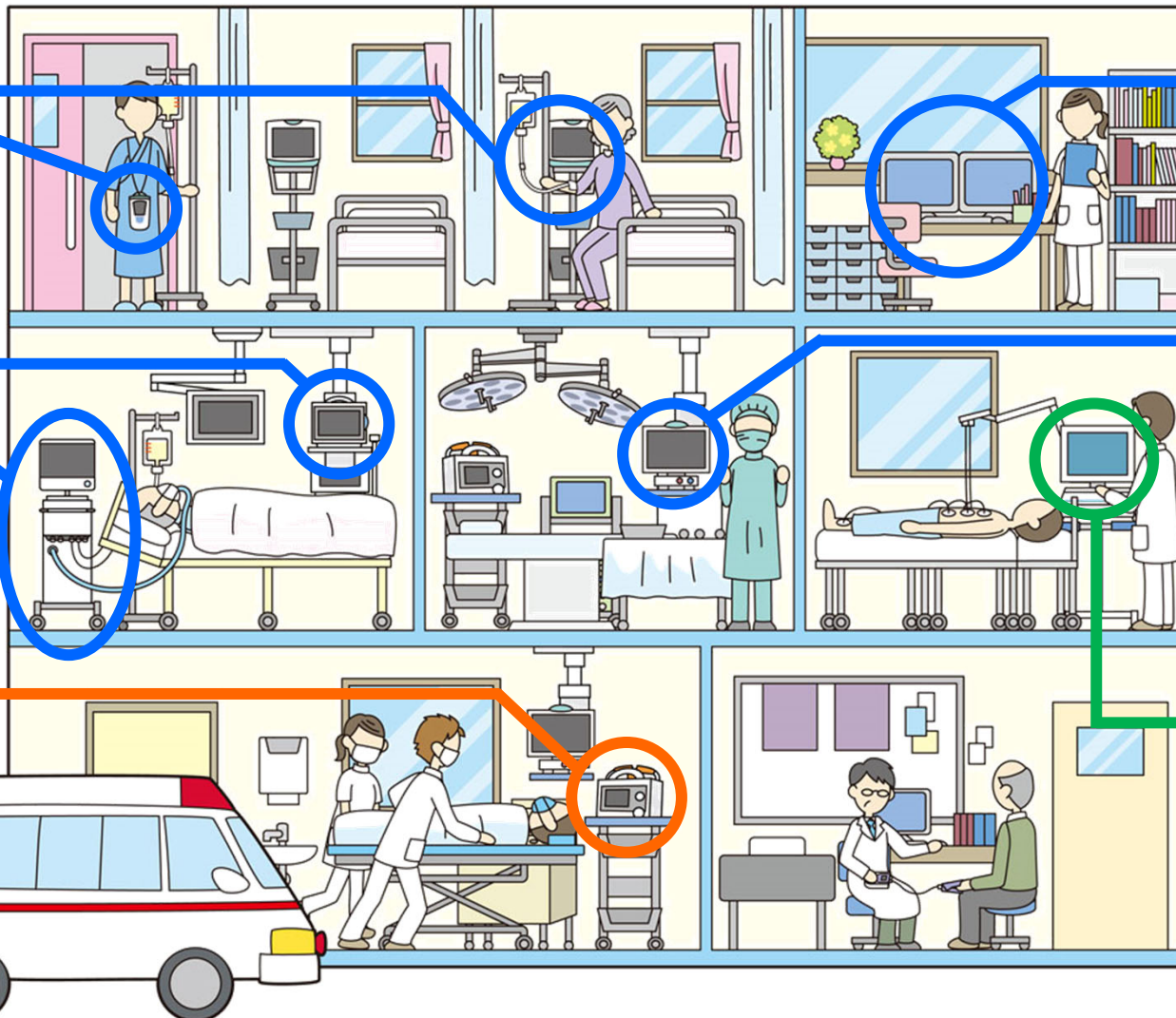


人工呼吸器

救命救急室



AED 除細動器



ナースステーション



生体情報モニタ

手術室



生体情報モニタ

検査室



心電計 脳波計 血球計数器

会社概要

会社名

日本光電工業株式会社

設立

1951年8月

本社

東京都新宿区西落合1-31-4

資本金

75億4千4百万円 (2022年3月31日現在)

従業員数

連結5,639名 (2022年3月31日現在)
国内4,036名、海外1,603名

上場取引所

東証プライム 【証券コード: 6849】



代表取締役 社長執行役員
荻野 博一

富岡から世界へー世界120ヵ国以上へ輸出ー

上海光電 (中国)



新興国市場向け製品を生産

日本光電オレンジメッド (アメリカ)



人工呼吸器の開発・生産

日本光電マレーシア (マレーシア)



SVM-7500

新興国市場向け
生体情報モニタ
を生産

富岡生産センタ (群馬)

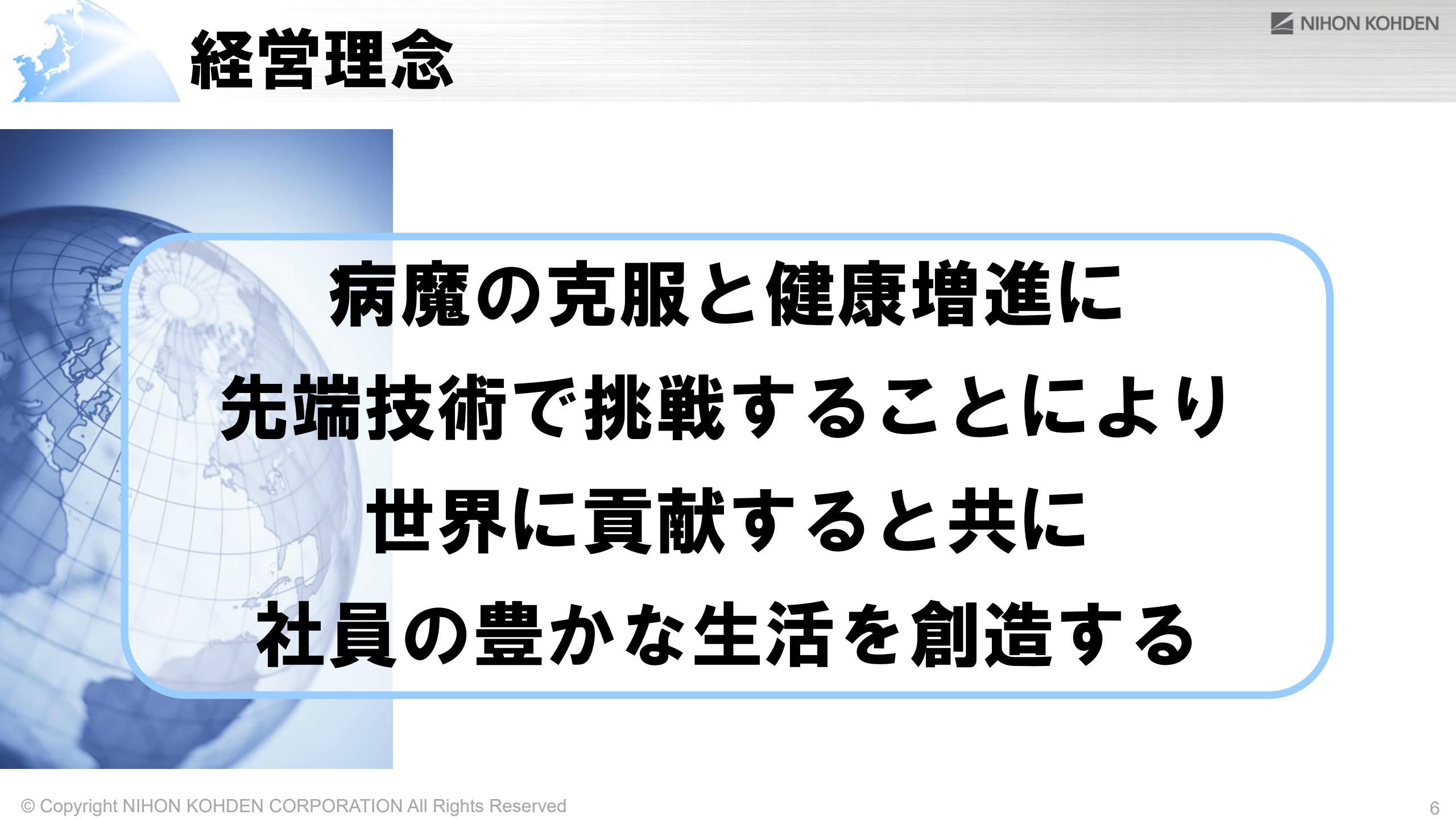


当社医療機器の85%を
生産するマザー工場

デフィブテック (アメリカ)



AEDの開発・生産



経営理念

**病魔の克服と健康増進に
先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に
社員の豊かな生活を創造する**

創業時から受け継ぐ想い



創業者
医学博士 荻野 義夫

「一人の医者が救える命には限りがある。
しかし、医療機器なら、それを世界中に
広めることで限りない人々に貢献できる。」



わずか12名で発足

「『これは私達が開発したんだ』と
世界に向かって大きな声で言えるような
機器を1つでも多く。」

「本当のユーザーは医師の向こう側にいる
患者さんである。患者さんに優しい機器を。」

最初は脳波計

1951年

世界初



全交流
直記式
脳波装置

現在

世界的な脳波計メーカー

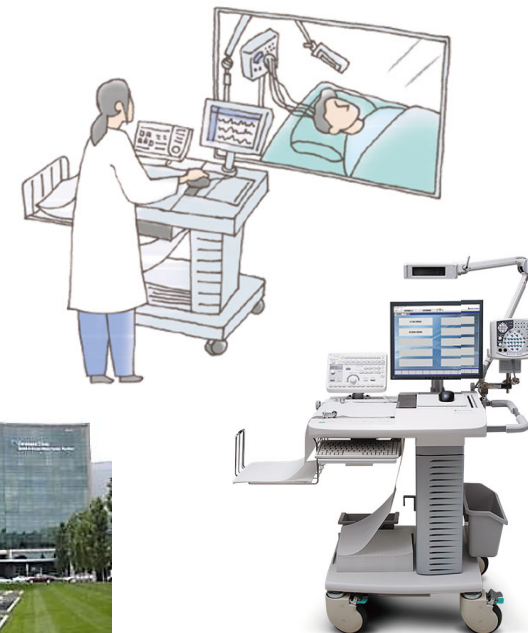
世界中の研修医を受け入れる
米国トップクラスの病院が当社の
脳波計を使用



第5位: ジョンズ・ホプキンス



第8位: クリーブランド クリニック



出所: 全米病院ランキング 神経内科・脳神経外科部門 (2022-2023年)

強みはセンサ技術

患者さんに苦痛を与えない 「センサ技術」の開発に注力



1974年 パルスオキシメータの原理を
|| 世界で初めて開発
指先にセンサをはめるだけで
血液中の酸素飽和度(SpO_2)を測定

- ・痛みがない
- ・連続して測定



医療現場で世界標準として使用されています

パルスオキシメータの原理を開発

2020年

当社の技術者 故 青柳卓雄 工学博士が
「米国麻酔科学会 栄誉賞」を受賞



工学博士 青柳 卓雄



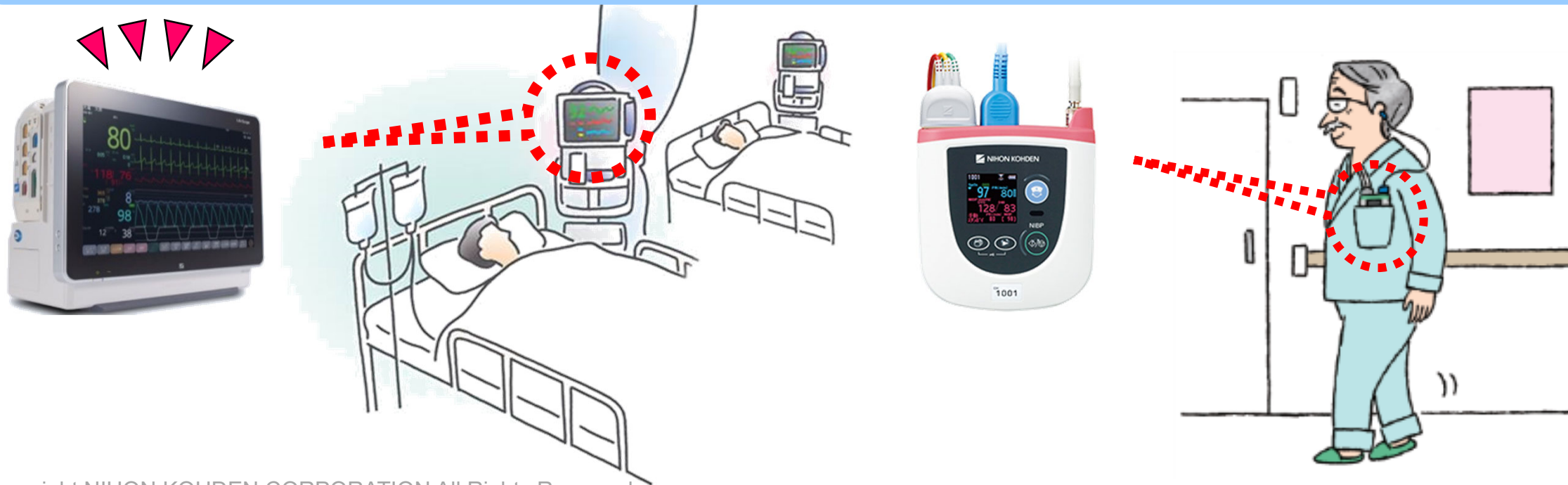
「パルスオキシメータの開発と実用化」
により「第4回日本医療研究開発大賞
／内閣総理大臣賞」を受賞



主要製品① 生体情報モニタ

患者さんを見守る役割

患者さんの血圧、心電図、呼吸などを連続的に測定。
血圧が急に下がった場合など、容態変化を**アラーム**でお知らせ



生体情報モニタの特長

医療の安全に貢献



「鳴り過ぎない」「見やすい」アラーム

高
↑重要度
低



緊急度に応じた
色分け

速くてやさしい血圧測定



- ・カフを加圧している間に血圧測定
- ・「痛くない」「速くわかる」



ヤワラカフ 2



ディスポカフ



送信機

※NIBP:Non-Invasive Blood Pressure (非観血血圧)

主要製品② AED(自動体外式除細動器)

国内唯一のAEDメーカー

日本企業ならではの細やかな心配りで、AEDの普及に貢献



2004年7月から一般市民も使用できるようになり、様々な施設への導入が進んでいます



♥ 全国でAED講習会を実施



♥ 東京マラソン2023をAEDでサポート



主要製品③ 人工呼吸器

コロナ禍において世界中で需要が増加

重症患者さん向け

気管挿管型

- 肺保護換気機能を訴求
- 医療従事者の感染リスクを低減



Protective Control™

軽症・中等症患者さん向け

マスク型

- ハイフロー酸素療法の提供
- マスクのフィットティング性を向上



国内市場で高いシェアを獲得



プレホスピタル
(救急医療)

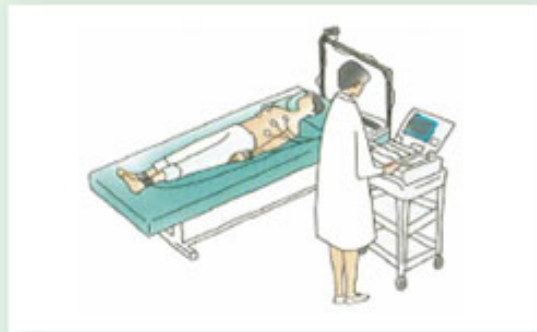
AED

除細動器



国内シェア
No.1

国内シェア
No.1



検査室

脳波計

心電計



国内シェア
No.1

国内シェア
No.2



手術室

病棟

生体情報モニタ 人工呼吸器

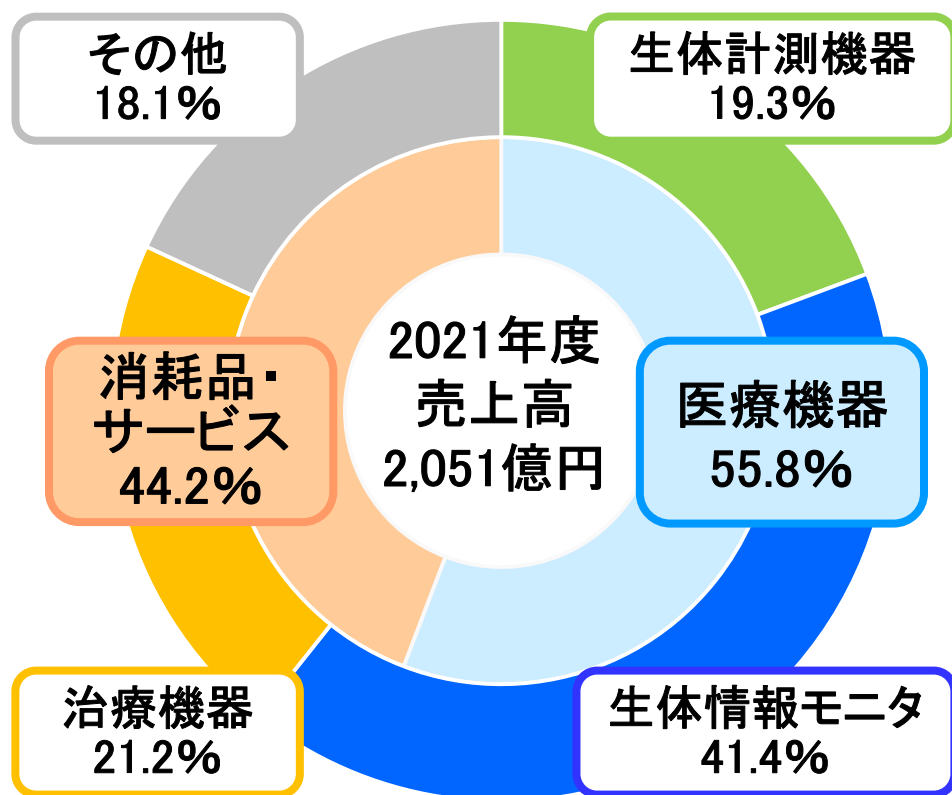


国内シェア
No.1

国内シェア
No.2

安定した収益基盤

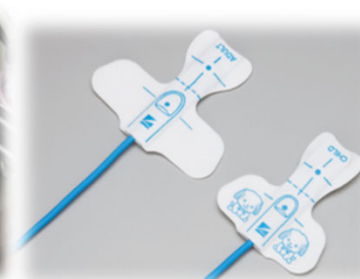
- ✓ 医療機器を用いた検査・治療に必要な**消耗品**
- ✓ 医療機器の安全な使用に不可欠な**設置工事・保守サービス**



消耗品も自社で開発・生産



心電図電極



SpO₂センサ



CO₂センサ



AED用電極パッド



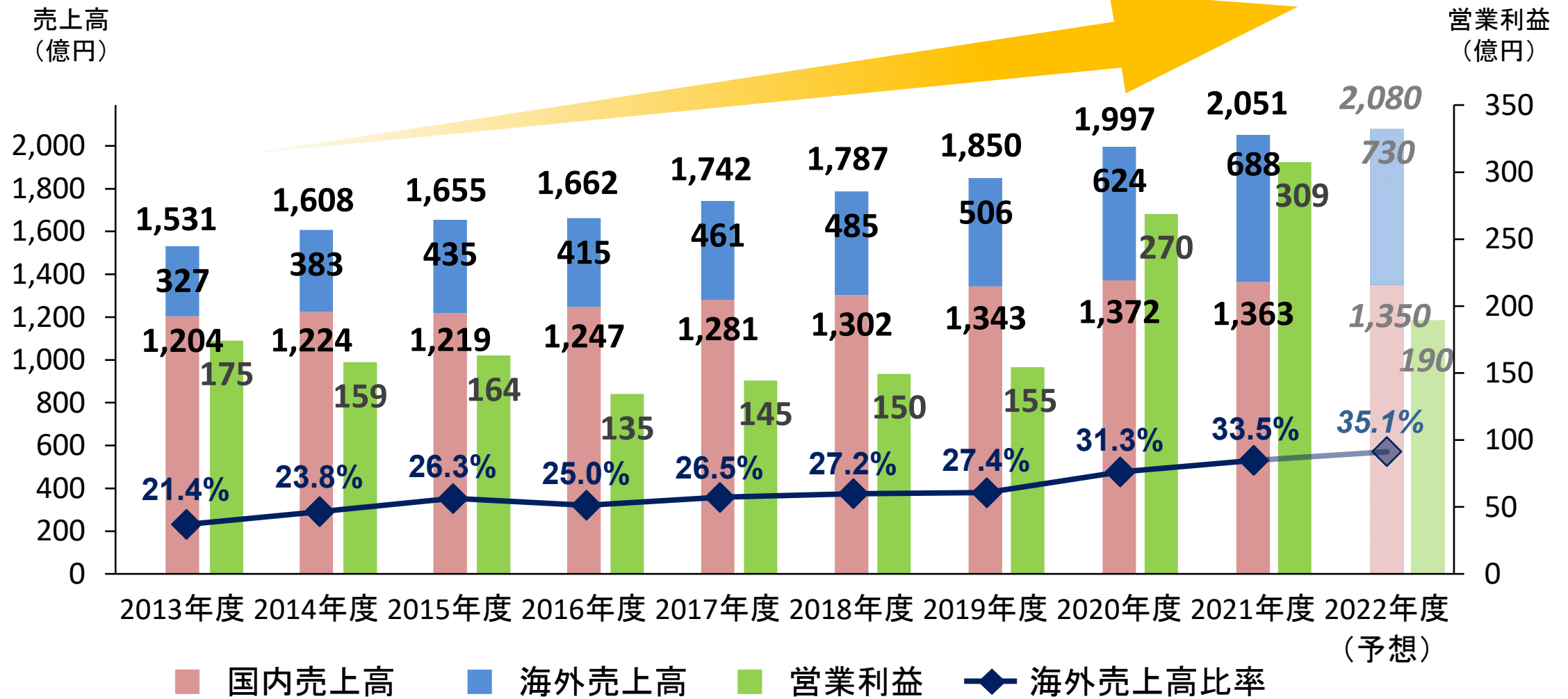
試薬



2

日本光電の成長戦略

業績推移（2013年度～）



ROE	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	(年度)
	15.0%	11.9%	10.7%	9.1%	8.6%	9.9%	8.3%	14.0%	15.9%	

日本光電を取り巻く環境変化

**COVID-19の
感染拡大**

- + 医療提供体制の重要性を再認識**
- 医療従事者の感染・負荷が増大、
病院の経営悪化が課題**

医療のDXの加速
テレメディスン、遠隔ICU等



新規参入の激化



**サイバーセキュリティなど
法規制の厳格化**



長期ビジョンと中期経営計画

病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に社員の豊かな生活を創造する

経営
理念



Illuminating Medicine for Humanity

グローバルな医療課題の解決で、人と医療のより良い未来を創造する

2030年3月期
目標水準

営業利益率 15% 海外売上高比率 45%

長期ビジョン

2027/4-2030/3 **BEACON 2030** Phase III : 長期ビジョンの実現

2024/4-2027/3 **BEACON 2030** Phase II : 成長への投資

2021/4-2024/3 **BEACON 2030** Phase I : 基盤の強化

中期経営計画

グローバル共通価値基準

経営理念・長期ビジョン・中期経営計画の推進に必要な
世界中の社員をつなぐ共通の価値観

Integrity / Humbleness / Diversity / Initiative / Customer Centric / Goal Oriented / Creativity

中期経営計画＜基盤の強化＞（2021/4-2024/3）

事業と企業活動を通じてサステナビリティを推進

経営

コンプライアンスの徹底とグループガバナンスの一層の強化により、経営基盤を強化する。

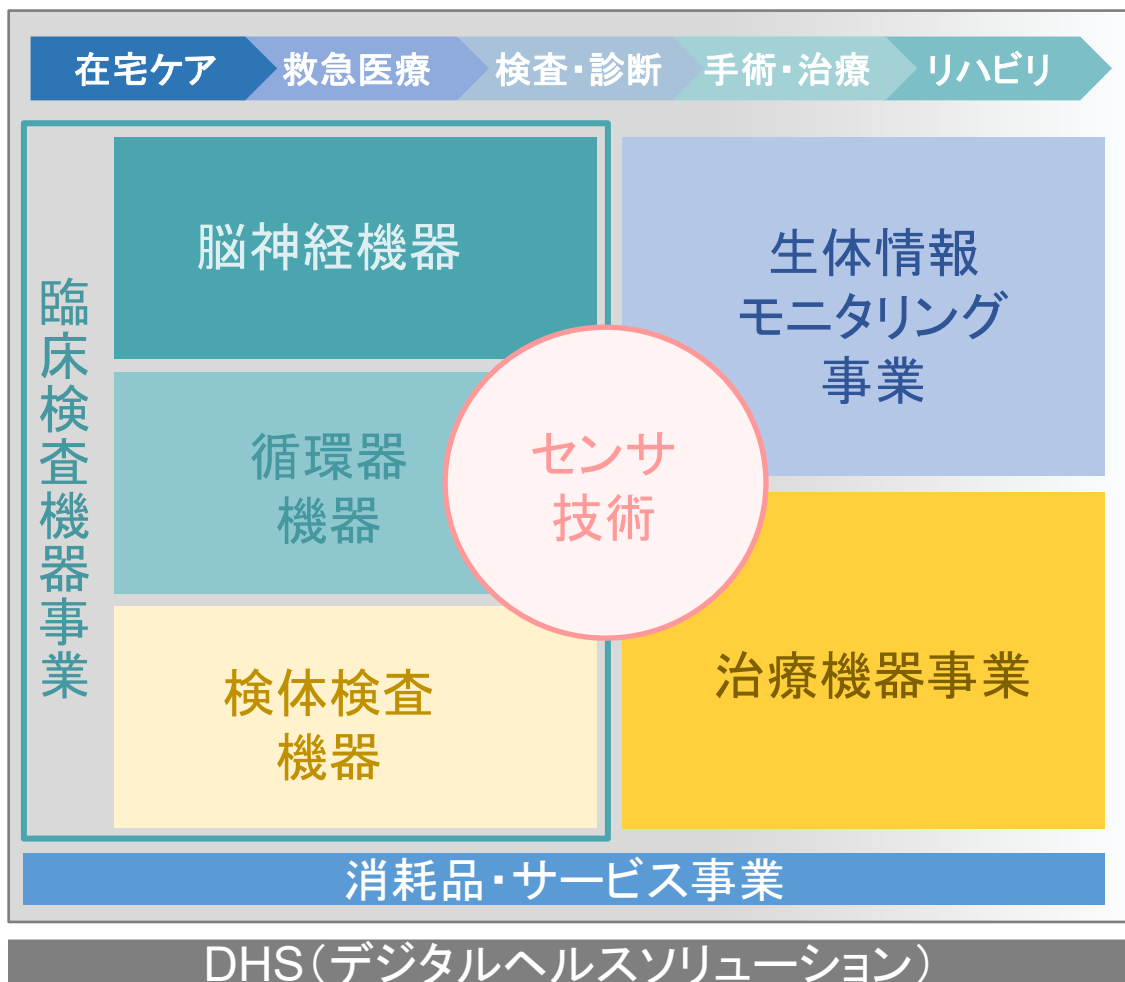
事業

既存事業の収益性を改善することで得た原資により、戦略的な先行投資を実施し、新たな成長への種を蒔く。

組織

グローバルSCMの構築とコーポレートの主要機能の強化により、グローバル成長の礎を築く。

① 既存事業における収益性の改善



全事業共通施策

高い顧客価値の創造

- ・デジタルヘルスの推進
- ・サイバーセキュリティ対応
- ・医療機器リモート監視システム (MD Linkage) の拡充

生産性の向上

- ・新たな共通設計プラットフォームの構築
- ・標準化・共通化の推進
- ・ライフサイクルマネジメントの徹底

タイムリーな製品投入

- ・世界最高品質の追求
- ・開発体制、QA/RA体制の強化

高収益体質の実現

① 既存事業における収益性の改善

生体情報モニタリング事業

✓ 製品ラインアップの拡充、機能強化による顧客価値提案の推進

一般病棟

ICU

手術室

院内・院外

ViTrac

NEW!

2022年度
国内発売

新生児蘇生モニタ
NRM-1300

セントラルモニタ
CNS-2101

CSM-1901

CSM-1702

CSM-1701

CSM-1502

CSM-1501

BSM-1700

BSM-3000

PVM-4000

WEP-1400

WEP-1200

SVM-7500

SVM-7200

GZ-140P

GZ-130P

ZS-640P

ZS-630P

全静脈麻酔支援シリンジポンプ制御ソフトウェア

2022年9月
国内承認取得

2023年度
国内発売予定

バイタルデータを活用し、
麻酔薬の投与を自動調節



ハイ
エンド

ミドル
レンジ

ロー
エンド

① 既存事業における収益性の改善

消耗品・サービス事業

消耗品

✓ 鶴ヶ島新工場用地を取得予定※

消耗品の生産拡大、
コストダウンの取り組み

AED用使い捨てパッド

富岡第二工場

2017年度 増産、自動化



SpO₂プローブ

富岡第二工場

2018年度 自動化生産に着手
2022年度 自動化生産ラインの
増設準備



筋弛緩モニタリング
専用筋電図電極

川本生産センタ

2022年度 生産ラインの増設、
自動化生産に着手



消耗品生産のマザー工場を建設

センサ類などの消耗品の製造・
自動化生産技術の研究開発



イメージ画像

グローバルでの需要拡大に対応
2030年までに生産規模2倍以上(2021年度比)

- 総投資額 90～110億円程度
工場用地取得費用 約23億円(予定)を含む
- 所在地 埼玉県鶴ヶ島市
圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側地区産業用地

※ 埼玉県議会の議決など必要な手続きを経て用地取得予定。

① 既存事業における収益性の改善

消耗品・サービス事業

サービス

✓ 医療機器リモート監視システム MD Linkage
への接続機種を拡充

血球計数器 でサービス 開始

2018年度国内



接続機種: 5機種
接続台数: 約1,700台

NEW!

人工呼吸器と連携開始

2022年度国内

- 業務効率
日常の点検結果をクラウドに自動送信し、
点検業務をサポート
- 医療安全
病室等での動作状況を遠隔で確認可能



2023/3期の取り組み

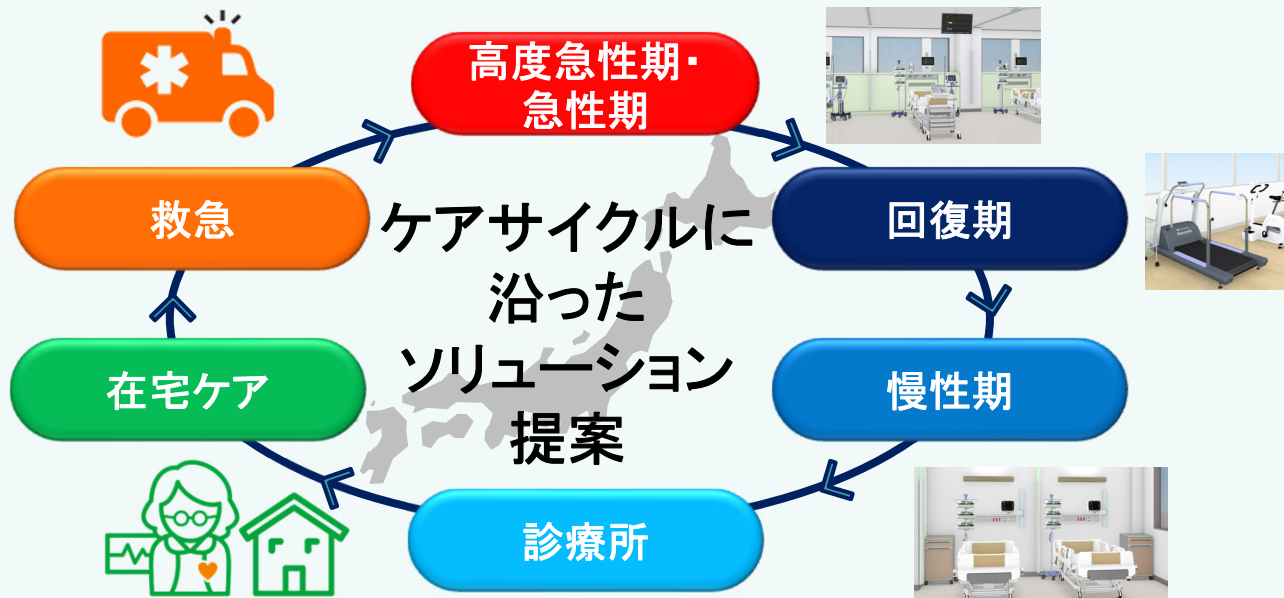
- ✓ 接続機種の
拡充を検討
- ✓ 新興国で
血球計数器と
の接続テスト
を実施

② グローバル事業における戦略強化

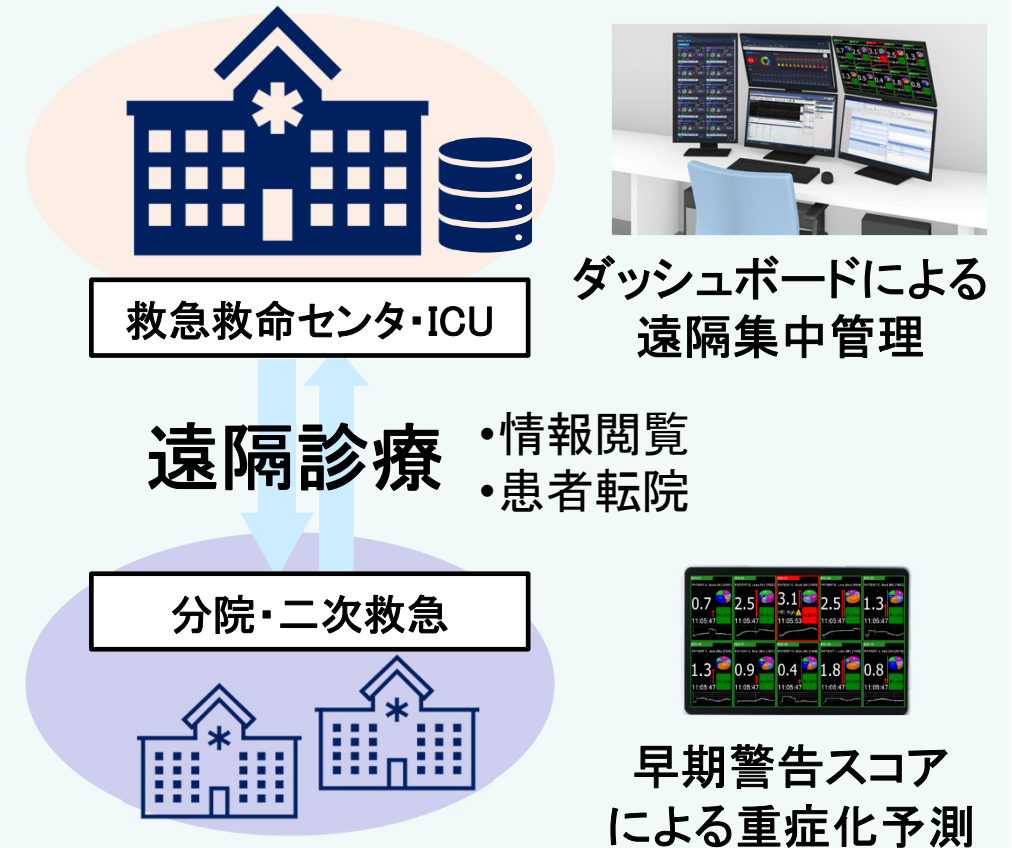
日本：医療の質向上、医療課題の解決に向けたソリューション提案を強化

✓ 顧客価値提案の強化

医療安全 診療実績 業務効率 につながる
提案営業力の強化、サービスの拡充



✓ 遠隔ICU構想の検証開始



※イメージ画像

② グローバル事業における戦略強化

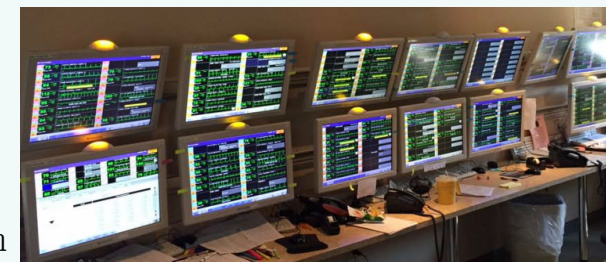
米国：子会社7社の統合と融合による米国事業のさらなる成長

✓ 製品ラインアップの拡充

✓ 大規模ネットワークに対応した
モニタリングソリューションの
提案を強化



War Room



NEW! 中位機種ベッドサイドモニタ
2022年度発売



サイバーセキュリティ対策を強化

人工呼吸器



NEW!

NKV-330
現地生産
2022年度発売

中位機種
モデル
2022年度FDA申請

救急蘇生機器



次世代自動心臓
マッサージ装置
2022年度発売予定

② グローバル事業における戦略強化

新興国：日本・米国製、上海製の新製品の提案を強化

日本・米国製品

ハイエンド市場向け

除細動器



ベッドサイドモニター



人工呼吸器



中位機種

2022年度
発売予定

検体検査装置



2022年度発売予定

上海製品

現地開発・生産

ミドル&ローエンド市場向け

心電計



2022年度発売

スポットチェック モニター



ベッドサイドモニター



検体自動搬送システム



中国市場向け

除細動器



AED



血球計数器



インド試薬新工場

総投資額：約11億円

床面積：現工場の約4倍（予定）

着工：2022年9月 完成：2023年春

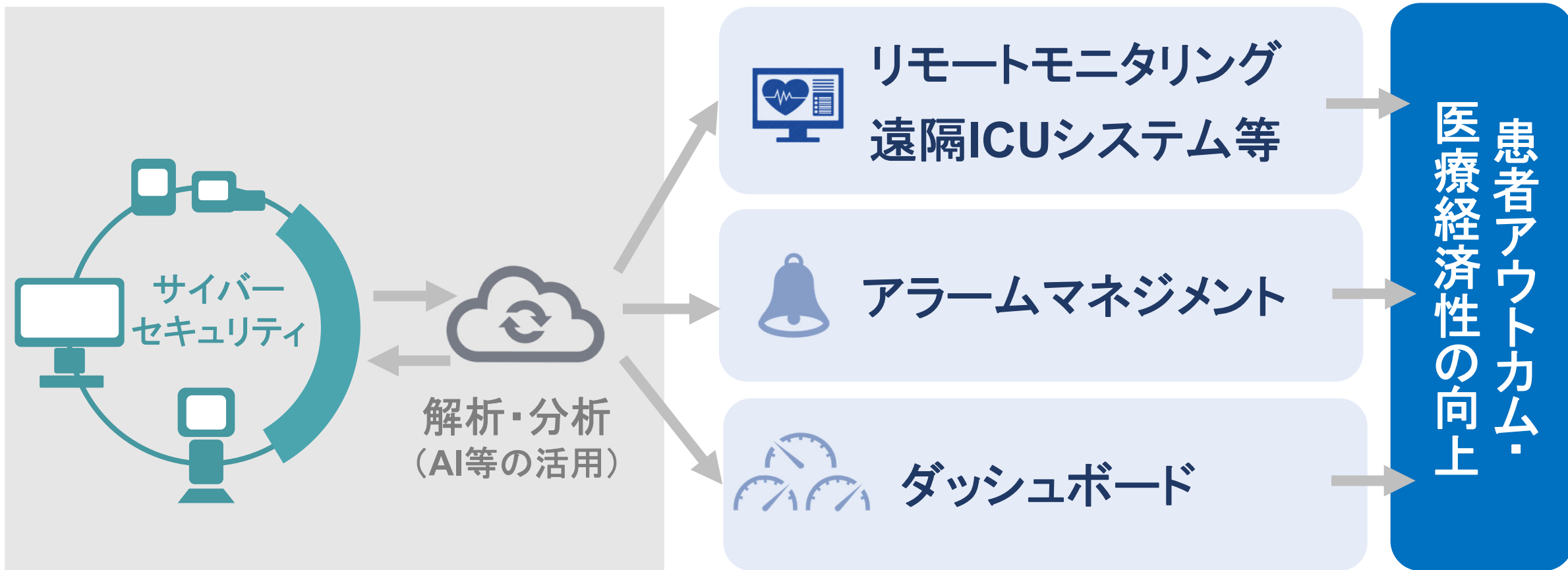
稼働開始：2024年春予定



③ DHS(デジタルヘルスソリューション)構想の推進

バイタルデータの統合・分析

臨床支援アプリケーション



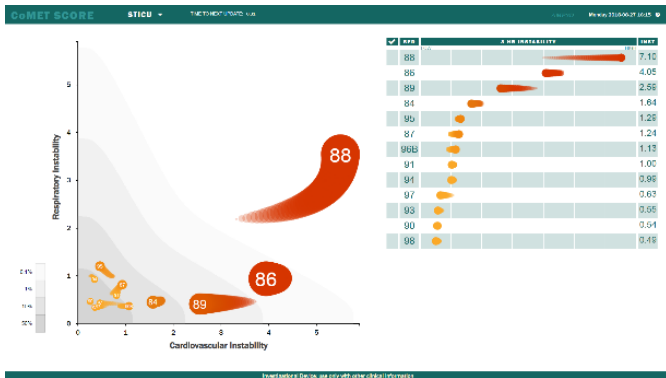
新規事業と位置付けて積極投資

③ DHS構想の実現に向けた取り組み

臨床支援アプリケーション

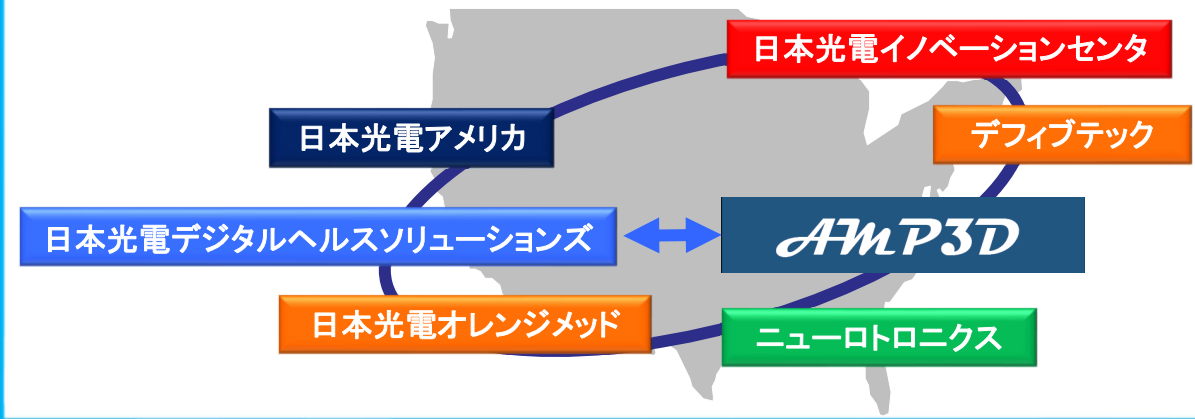
米国 AMP3D (アンプスリーディ) 社を買収

- 本社: 米国バージニア州
- 設立: 2013年
- 代表者: ケビン・パサレロ氏 (社長兼CEO)
- 事業内容: 患者容態管理のためのアルゴリズム・ソフトウェアの研究開発



CoMET®: Continuous Monitoring of Event Trajectories
患者容態管理のためのアルゴリズム・ソフトウェア

- 当社のDHS(デジタルヘルスソリューション)構想と高い親和性
- 現地開発体制を強化



- 新生児向けの呼吸管理指標を追加
- 2022年度FDA申請

③ DHS構想の実現に向けた取り組み

臨床支援アプリケーション

イタリア Software Team社を買収

- 本社： イタリア・ミラノ
- 設立： 1988年
- 代表者： ロベルト・マジョーニ氏 (CEO)
- 事業内容： 医用電子機器用ソフトウェアの開発・販売

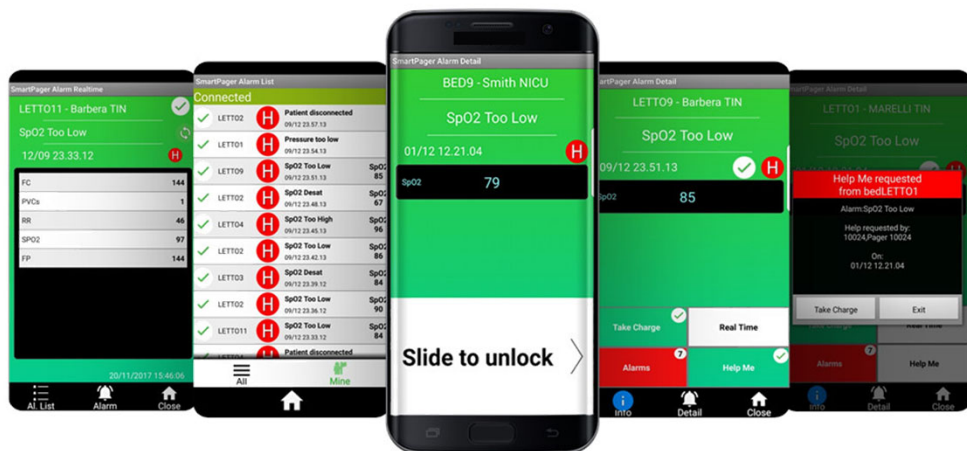


- 当社のDHS(デジタルヘルスソリューション)構想と高い親和性
- 欧州市場における生体情報モニタ商談の提案力強化を期待

生体情報モニタ等の
アラーム情報を
スマートフォン等に転送

- アラーム見逃しの低減
- 迅速・適切な処置

医療の質向上



サステナビリティの推進

事業を通じて解決を目指す課題

アクセシブル・インテリジェント・患者視点・コネクテッド・最適化

AEDへのアクセス拡大
による蘇生率の向上

医療機器の自動制御

アラーム高度化による
静かな医療環境

遠隔監視を用いた
製品稼働率向上

新興国の医療従事者
への教育機会の提供

患者さんにやさしい
センサの開発・提供

心不全や脳疾患
感染症ケアへの貢献

テレメディスンによる
医療格差の解消



3 すべての人に
健康と福祉を

価値共創の源泉となるテクノロジー

ヒューマンマシン
インターフェース

IoT

AI

サイバー
セキュリティ

グリーン技術



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

医療への貢献に
やりがいと誇りを持てる
組織風土の醸成

バリューチェーン
全体で
世界最高品質を追求

コンプライアンスの徹底と
グループガバナンスの
一層の強化

脱炭素社会の実現

人権・人財

品質

ガバナンス

環境

企業活動を通じて解決を目指す課題



進捗状況(初年度)



AED
販売台数

10万台
(進捗率 29%)



環境配慮型
製品売上比率 19.9%
(63シリーズ)

TCFD※提言に基づく
情報開示

NK Sustainability
Initiativesを開始

国内外グループ各社・各部門
でサステナビリティに関する
ディスカッションを実施中

※ TCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosure)：気候関連財務情報開示タスクフォース。

経営目標値 2024年3月期

売上高	1,970億円
国内売上高	1,340億円
海外売上高 (海外売上高比率)	630億円 (32.0%)
消耗品・サービス売上高比率	48%以上
売上総利益率	50%以上
営業利益 (営業利益率)	200億円 (10.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	138億円
ROE	10%



地域別海外売上高

米州	320億円
欧州	100億円
アジア州他	210億円

3カ年計画

研究開発投資	200億円程度
設備投資	140億円程度

想定レート: 1米ドル=102円、1ユーロ=124円

粗利率50%以上、営業利益率10%以上を
定常的に生み出せる企業体質への変革を目指す

3

株主様への還元について

利益配分の基本方針

利益配分の優先順位は、①将来の企業成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

将来の企業成長 に向けた投資

- ・ デジタルヘルスソリューションを新規事業と位置付けて積極投資
- ・ コーポレートDX推進、グローバルSCM構築のための設備投資

研究
開発



設備
投資



M&A
提携



人財
育成



配当

長期安定配当を
継続

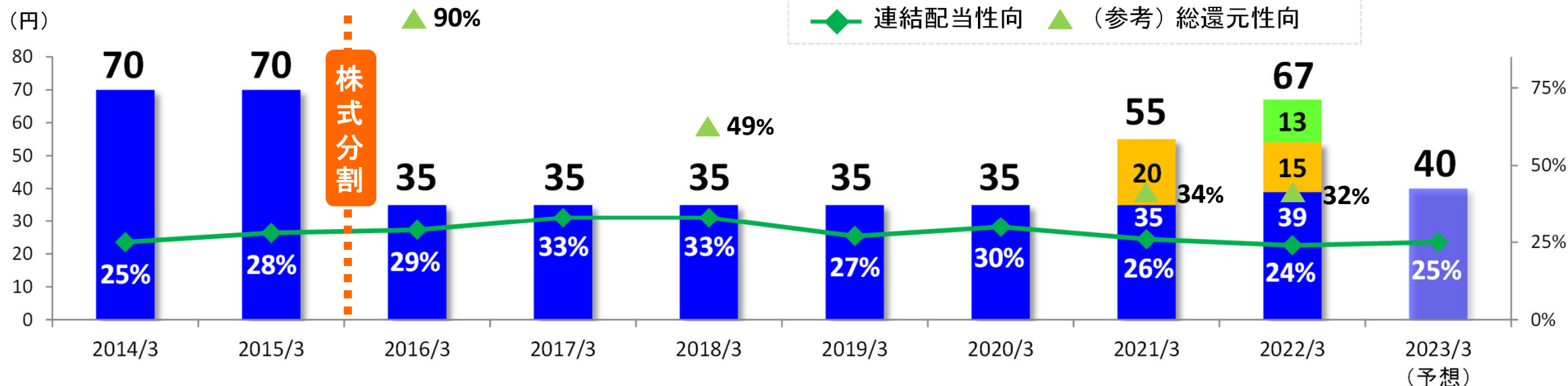
目標:連結配当性向
30%以上

自己株式取得

今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、株価の推移等を総合的に考慮し、機動的に検討

株主様への還元

【1株当たり配当金・連結配当性向の推移】



注) 2015年4月1日を効力発生日として、株式1株につき2株の株式分割を実施。2014年度までの数値は、株式分割前の実際の配当金の額を記載。

自己株式の
取得/消却

2022/3期
18.9億円 取得
(総還元性向: 32.2%)

2022年6月
50万株を消却

2022年12月末
自己株式保有
410万株 (持株比率: 4.7%)

23/3期 配当
(予想)

年間配当金: **40円** (配当性向: 24.9%)

配当利回り: 1.1%
(3月13日株価: 3,595円)

医療に国境はない

「医療に国境はない」

**国や主義を越えて
人の病をいやすため
先端技術で挑戦**

4

質疑応答



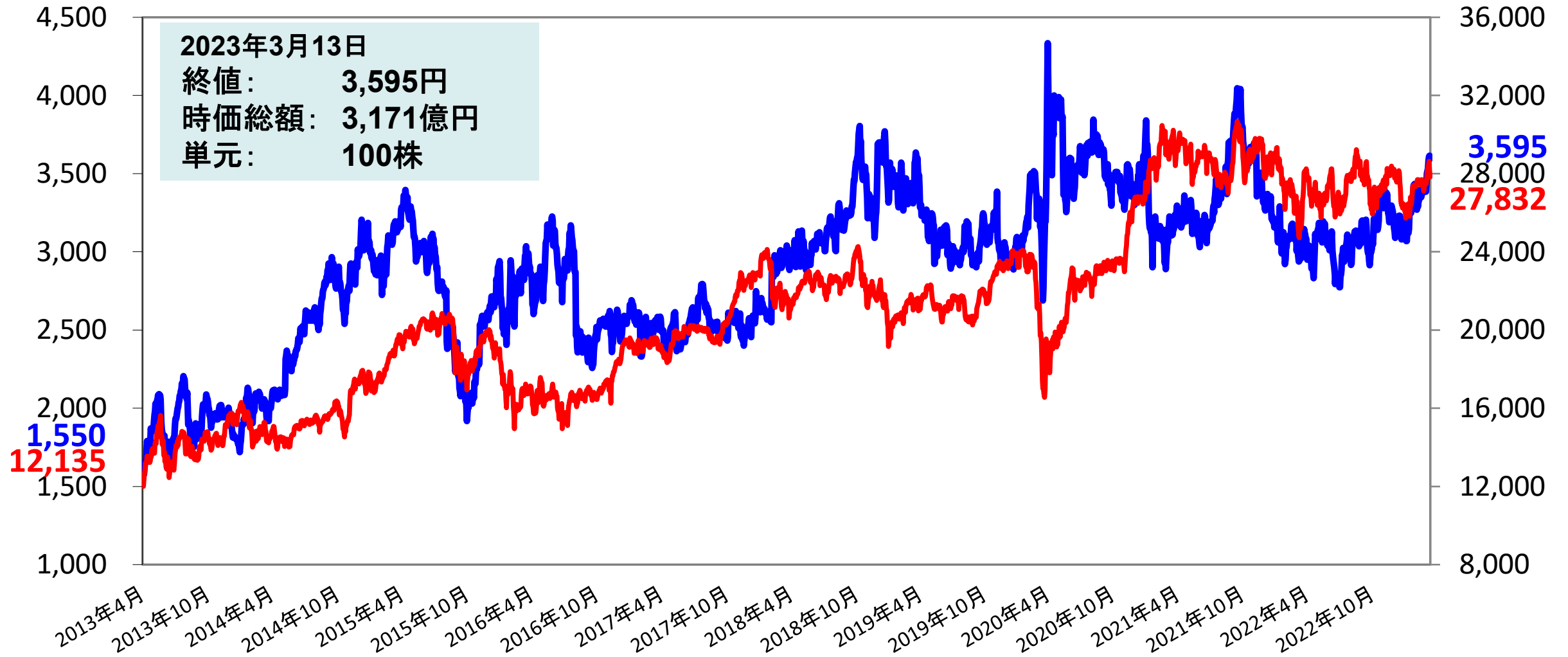
5

補足資料

株価推移 (2013年4月1日～2023年3月13日)

日本光電(円)

日経平均(円)



※ 2015年4月1日を効力発生日として、株式1株につき2株の株式分割を実施。分割日以前の取引値についてもさかのぼって修正して記載。

株式情報

“ESG評価”

✓ FTSEの指数に選定



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

✓ MSCI の指数に選定

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

“投資魅力の高い会社”

✓ 「JPX日経インデックス400」 に採用



JPX-NIKKEI 400

“サステナビリティ格付け”

✓ ISS ESG Corporate Rating 「プライム」 に認定



この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】経営戦略統括部

【連絡先】TEL03-5996-8003